

8 議員市政を問う

傍聴席は満員御礼



議場は熱気でいっぱい



問 女性は、細かなことや豊かな感性があり、これらを生かせる町づくりが求められている。市長の政策でもある、「女性政策室」の早期実現を望むものであるがその見通



田之筋公民館で「安心の家」
実技講習を受けているボランティア
と施設協会職員。参加者は27名。

市長 しについて伺いたい。行政の各種委員会でも、女性の登用を積極的に行い、女性の豊かな感性が生かせる、環境づくりに努めたい。西予市における真の男女共同参画型社会を構

市長 産業戦略会議を創設して、新しい産業おこしを目指したい。対策室の設置については今後の課題としたい。

産業戦略 会議って何

問 活力ある西予市を築いて行くために、新たな視点で女性政策の要となる女性政策室を行政組織に加えたい。

福祉のモデル 小規模多機能施設

問 これからの地域福祉を考える視点として、行政と地域が一体となって支えあう、地域福祉の在り方が求められる。田之筋地区で間もなくスタートする「安心の家」(小規模多機能施設)を行政としてもしっかり支援し、これからの地域福祉のモデルとすべきだと考えるが、その指針と対応について伺いたい。

市長

この施設は介護保険対象の、デイサービス10人、介護保険外の宿泊サービス定員2人を主なサービスとして事業を行う。地域ぐるみで高齢者の方々を支えることを基本とし、地域と行政が一体となり、高齢者の方の身近な場所

大竹 忠盛 議員

女性政策室の早期実現を

委員会にも女性の登用を

要望いっぱい・課題山積

一般質問は熱気でいっぱい



問 地方分権の必要性については、言う必要はない。しかしこれら一連の改革は余りにも唐突過ぎて、しかも充分な説明も無いままに、改革だけが進んでいるような気がする。政府の「三位一体の改革」で西予市の行政運営に今後どのような影響があるのか伺いたい。

総務部長 三位一体の改革の理念は、地方自治体の本来の姿を実現するものと理解していたが、蓋を開けてみますと、三位はばらばらにして、それを一刀両断に切り捨てる内容のものであります。各自治体は、平成16年度予算編成で大幅な財源不足に直面しました。当市の影響についても、12億4千万円の収入源になります。三位一体上の

問題はクリアできても、本質的な財政上の問題が残っていますので、今後抜本的な行政改革を進め、健全財政を構築していかなければなりません。

今こそ新産業 おこしの検討を

問 長引く景気の低迷に伴い、地域経済に大きな陰りが始めている。一方都会においても、企業の構造変化に伴い、雇用の受け皿がなくなった。今こそ地方が都会に変わって、雇用の受け皿になる時代ではないかと思うが市長はどのように考えているのか伺いたい。

市長

西予市の特性を生かした多品目産地づくりや、特産品の開発は私の公約の一つであり、後継者の確保や雇用の場として、働く環境

元親 孝志 議員

現状だと財政破綻は明白

作りに努めたい。西予市に根付く商業などの開発の素地はまだ充分あると思っています。地場産業の振興とともに、これを基礎とした産業の高度化、活性化を推進してまいります。

介護保険団塊の 世代はどうなる

問 介護保険制度も4年目にして、早くも抜本的改革が予定されている。問題は負担と給付のバランスをどう維持するかである。将来は施設でも在宅でもない「小規模多機能サービス拠点」が理想と思うが市長の考えを伺いたい。

市長

「小規模多機能サービス拠点」の考えは、私もまったく考えの一致するところであり、今後積極的に進めて参りたいと思っています。

